

前回会議（10月）における審議会委員からの意見について

連番	旧頁	現頁	意見内容
			対応内容
1	P3	P3	地域気候変動適応計画内包の表現が分かりにくい。
			本文中に地域気候変動適応計画について記述を追記し、図に内包と明記した上で全体のレイアウトを変更し、修正しました。
2	P4	P4	計画の対象とする環境の範囲の表において、区分地球環境の環境目標が「地球環境を思いやるまちづくり」とあり、違和感がある。
			環境目標は計画の対象とする環境の範囲ではないこと、また、第4章において個別に示すことから、ここでは環境目標を示さないこととし、内容を修正しました。
3	P10	P18	一番下の築港地区の写真について、他の写真と合わせ年代を入れた方がよい。
			写真名に「現在の」を付記し、修正しました。
4	P11	P19	2段落目、「月平均では11月の平年値は～」という説明が何を表現したいか不明である。
			1年の中で最も降水量の多い11月を表しているため、「月平均では11月が最も多く～」と文言を修正しました。
5	P12 ～ P13	P20 ～ P21	(4) 人口・世帯①②において、文中に平成26年が取り上げられているが、平成26年に何か特別な意図があるのか。
			特段の意図がなく、現行計画の記載から引用したものであったため、平成26年の記述を削除し、修正しました。
6	P15	P23	卸売業・小売業の事業所数・年間商品販売額の推移のグラフについて、データが古いため、新しいものに更新した方がよい。
			当該データは、現時点において入手できる最新のデータであるため、適宜更新することとします。
7	P16	P24	(6) 土地利用の文中、「免税点未滿」に「※」が記載されておらず、「非課税地※2」が先にあるため、順番を変える必要があるのではないか。
			免税店未滿や非課税地の区別の記述については、分かりにくい上に本計画では不要と考え、記述を削除し、修正しました。
8	P18	P25	道路図中に塩谷と最上を結ぶ道道がなく、また、右側に本来存在しないはずのJRがある。
			塩谷と最上を結ぶ道道のほか必要な道路を追記し、また、右側のJR線を削除し、修正しました。
9	P18 ～ P19	P25 ～ P26	②鉄道において、令和12年度末の新幹線まで記載されているが、並行在来線の記述は必要ないか。
			並行在来線（長万部・小樽間）については、バス転換とする方向性が決定されておりますが、その在り方については検討が行われている段階であるため、現時点では並行在来線の記述は差し控えたいと考えます。
10	P37	P62	上から2番目の表、自動車交通騒音調査に伴う車速交通量調査について、交通量と平均車速が誤っていないか。
			表中の内容が交通振動レベルの測定結果となっており誤っていたため、修正しました。

連番	旧頁	現頁	意見内容
			対応内容
11	P43	P48	③リサイクルの文中について、リサイクルできるものは捨ててもいいように読み取れるが、このままの記述でよいか。
			排出量ではなくリサイクル率にするなど記述内容を変更し、修正しました。
12	P53	P31	3段落目に「全国平均pH5.07（令和3年度）と比較すると、小樽市はpH5.3（令和3年度）と、酸性度は弱くなっています。」とあるが、この差は有意な差と言えるのか。
			あくまでも数値を比較して酸性度が弱いという事実を記載しておりますので、現行のままとします。
13	P54	P32	オゾン層の破壊の文中、「2066年ごろまでに、極端な減少がみられるようになる前の1980年代の水準に戻るとの予測」とあるが、何の減少で何の水準かが分かりにくい。
			分かりやすい表現に変更するとともに、文章全体を修正しました。
14	P57	P31	上2つのグラフについて、両グラフの違いは何か。
			左が設備容量、右が発電電力量のグラフである旨を付記し、修正しました。